

科目名	物質化学工学演習Ⅱ	JABEE科目	科目コード 441
-----	-----------	---------	--------------

学年・学科等名	4 学年	物質化学工学科	選択科目
単位数・開講期	1 単位	後期	
総時間数	45 時間	演習 30 + 自学自習 15	
担当教員	小林 渡・高田 知哉・千葉 誠		

本校の教育目標	3	物質化学工学科の教育目標	2
---------	---	--------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	202基礎工学科目②情報・理論系
	教育プログラムの学習・教育目標	A-1(50%) C-1(50%)
	JABEE基準	cdf

教科書名	
補助教材	プリント
参考書	

A. 教育目標

これまで学んできた物質化学工学関連企業を各自が調査し、このことをレポート形式、あるいは口頭発表形式で報告することを通して、物質化学工学に関する理解力、応用力を身につけるとともに、自分の考えなどを論理立てて説明する能力を養う。さらに、職業意識の高揚、学習意欲の喚起を図る。

B. 概要

これまで学んできた物質化学工学関連の学問が実社会においてどのような役割を果たしているか、どのように応用されているか、などについて各自が調査し、このことをレポート形式、あるいは口頭発表形式で報告を行う。さらに、これらを学ぶにあたっての基礎知識としてこれまで学んできた化学関連の計算問題についての復習も併せて行う。

C. 学習上の留意点

自身の今後の進路選択に直接関わる内容であることを意識し、レポート提出および口頭説明に際しては十分な準備をして臨むこと。内容はもとより、文章表現や口頭での伝達力などが重視されると考えてほしい。必要に応じて、文章作成法やプレゼンテーション法に関する書籍等を参考にすること。定期試験は行わない。

D. 評価方法

レポート・口頭発表(100%)

E. 授業内容

授業項目	時間	内容・到達目標	教育プログラム
ガイダンス	2	本講義の趣旨、成績評価法を理解する。	A-1 C-1
化学計算等の復習	6	これまで学んできた化学関連の計算問題を解くことができる。	A-1
物質化学工学関連企業の紹介	2	物質化学工学関連の学問が実社会においてどのような役割を果たしているか、どのように応用されているかについて理解することができる。	C-1
関係企業調査およびそれら企業と物質化学工学との関連についてのレポート作成、プレゼンテーション	20	物質化学工学関連の学問が実社会においてどのような役割を果たしているか、どのように応用されているかについて論理的に説明することができる。	A-1 C-1
◆自学自習 ・授業内容の予習	15	レポートおよびプレゼンテーション資料作成のための時間を15時間とする。	A-1 C-1

F. 関連科目

企業実習、卒業研究